意見発表

京丹後市長
三崎政直
全国大会実行委員会委員

本年日本各地で発生いたしました地震、豪雨、台風等によりまして被災されました皆様方に心よりお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈りを申し上げます。

本日は全国からこのように多くの方々がお集まりいただき、この前で意見発表をさせていただき誠にありがとうございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

少し京丹後市につきましてご紹介をさせていただきます。京都府の最北端に位置し、平成16年4月に峰山、大宮、網野、弥栄、丹後及び久美浜の6町が合併し誕生いたしました。人口は約5万5千人の市でございます。

本市は豊かな自然に恵まれております。最高級ブランドの間人ガニ、牡蠣や地酒等、食の魅力に溢れております。また、ユネスコ世界ジオパーク認定の山陰海岸ジオパークがあり、自然の中で四季を通じましてカヌーやトレッキング等のスポーツやアクティビティを楽しみいただいております。これらの豊かな自然の中から生産されます食材等を一度堪能いただければと思っております。是非ともこの機会にお越しをいただきたいと思っております。

さて、本題に戻りまして3点につきまして意見を述べさせていただきます。

まず1点目は、高速道路のミッシングリンクの解消と利便性の向上であります。昨年、京都府の背骨となる南北高速道路網140kmが繋がり、京丹後市としても観光客の増加や企業進出等、その効果が表れ大変喜んでおります。しかしながら、兵庫県と鳥取県に至ります山陰近畿自動車道の整備はいまだ道半ば。特に隣町でございます豊岡市と結ぶ区間30kmは、ルートすら決まっていない状況でございます。

今年は本市でも7月豪雨、度重なる台風の襲来を受け、幸い人命を失う災害発生は免れましたが、幹線道路の通行止めや人家浸水が相次ぎました。やはり災害時に頼りになるのは、高速道路と再認識をいたしました。南海トラフ地震を考えれば、広域避難、また、災害物資の輸送路確保のためにも高速道路ネットワークの早期完成が必要であります。西は山口県から繋がる山陰道、東は福井県に繋がる舞鶴若狭道や北陸道と一体となって日本海の国土軸を形成する山陰近畿自動車道の早期完成に向け、国の最大限の支援をお願いいたします。

次に、構造物の維持管理についてでございます。全国で一斉に重要構造物の点検が順調に実施されており、今年で1週目の点検が完了予定でありますが、点検結果に基づく施設の修繕等が必要になってまいります。本日京都府内26市町村のうちこの場に22名の首長が参加しておりますが、共通した思いは、今後この修繕に必要な予算をどのように確保するかでございます。昨今頻発する災害を考えますと避難や物資輸送を受け持つ道路を健全な状態で維持管理することが重要であり、点検結果に基づく修繕工事は喫緊の課題であります。市町村としましては、メンテナンスを担う人材の確保等の問題もございますが、やはり財源確保は最重点課題であり、従来の制度を超えた新たな財源の創設をお願いをいたします。

3点目は、着実に進む人口減少社会への対応であります。本市は山陰海岸ジオパークに代表される豊かな自然に囲まれ、移住・定住を推進し、人口の増加に向けて取り組んでおります。先ほど出ました高速道路の早期整備は最重要課題ではございますが、それだけでは十分とは言えません。やはり高速道路から幹線道路、そして観光地に直結する市道に至るまで安全で快適な道路環境を整備してこそ、インバウンドをはじめとした観光客へのおもてなしの精神であります。さらに地元住民の安全を守る交通安全事業をきめ細やかに進めることで、移住・定住促進等の施策と連携し、実を結ぶことと考えております。

この様に道路は地域住民の生活を支えるのみならず、地方都市の将来を担う最重要施策でありますが、近年の道路関係予算は対前年度並みが続いております。将来を例に積極的に施策を実施したい地方にありましては、誠に不安な状況と言わざるをえません。

私は国会議員の先生方をはじめ、本日ご参集の皆様としっかりと連携し、道路関係予算の大幅な増額を全力で訴え続ける所存でございます。国の皆様におかれましては、予算の更なる拡充につきましてご協力を賜りますよう深くお願いを申し上げ私の意見発表とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

主張

天災と安全な高速道路の利用

未曾有の記録的大雨となった7月豪雨、度重なる台風の襲来、大阪府北部地震や北海道胆振東部地震など、今年は複数の大きな天災に見舞われた。これらにより、多くの方がお亡くなりになったほか、国土の広範囲に大きな被害をもたらした。高速道路も例外ではない。日頃万全な維持管理に努めていることは勿論であるが、構造物がダメージを受けてしまう場合がある。

これら天災に対する備えとして、公共交通機関の計画運休が話題となり、企業によっては運休に合わせて社員に早めの帰宅を促したり、出勤を控える措置がとられた。大手百貨店の休業なども相次ぎ、社会経済活動への影響も大きかった。

各高速道路会社は、天災に備えて様々な対策を実施しているが、相次ぐ台風の襲来により、今年は高速道路の通行止めが何度も発生した。この通行止めであるが、その要因には様々なものがある。雨、強風、地震、雪、霧など。

これらのうち、強風の怖さを実感したのが9月4日に襲来した台風21号であろう。強風に流され海上に停泊していたタンカーが関西国際空港の連絡橋に衝突した映像は衝撃的だったが、一般道を含む陸上部においても、強風に煽られた車両横転事故が各地で頻発し、上下逆さまになったり、損傷した多くの車両、高架道路から落下しそうな大型貨物自動車の映像もまた、衝撃的だった。

この教訓を受けて、各高速道路会社は、以後発生した台風24号及び台風25号の接近に当たって、気象予測に基づき通行止めの可能性がある区間を前広に、また通行止めが発生した場合はその区間を会社ホームページで昼夜を問わず情報提供し、高速道路の利用者に注意を促した。高速道路を利用する方にとっては有用な情報であり、このような情報提供について当該ページへのアクセス数が多かったことからも、一定の評価はされるのではないだろうか。

また、台風が通過し、影響が無くなった場合に、通行止めがすぐ解除になるかというと、そうはいかない。飛来物や構造物に損傷等がないか点検し、走行の安全が確認されてからとなる。通行止め解除を待っている利用者からしてみれば、「天気も回復したのに何時まで待たせるのか」という気になるかもしれないが、通行止め解除を急ぐあまり、その後に事故が発生すると元も子もない。地域間を結ぶ重要な幹線道路ゆえに「一刻も早く」という思いは高速道路会社も同じであるが、何より安全が第一である。災害に対する備えを今一度確認するとともに、不要不急の外出を避け、じっと我慢することも必要である。

役員の一部改選

【新選出理事】
群馬県・亀山豊文
新潟県・國定勇人
富山県・中川行孝
静岡県・石井源一
愛知県名古屋市・くれまつ順子
京都府・河井規子
福岡県・金子健次
熊本県・中村博生
宮崎県・池田宜永
鹿児島県・藤田護
横浜市・川口正敏
特別会員・吉弘英光
特別会員・石井直孝

【新承認副会長】
福岡県・金子健次

【新指名常任理事】
群馬県・亀山豊文
新潟県・國定勇人
静岡県・石井源一
宮崎県・池田宜永
横浜市・川口正敏
特別会員・吉弘英光

（敬称略）

講演会

「見たことのない京へ、続く道」

平田進也
㈱日本旅行おもしろ旅企画ヒラタ屋代表・京都府文化観光大使

平成30年12月8日（土）開通予定

後志（しりべし）自動車道 余市IC～小樽JCT

～沿線地域の安全・安心を確保～

NEXCO東日本北海道支社が建設を進めている後志自動車道（余市IC～小樽JCT）が、平成30年12月8日（土）に開通する。

【開通予定日】
平成30年12月8日（土）

【開通区間】
後志自動車道（余市IC～小樽JCT）／延長23・3km

【開通による整備効果】

◇**国道5号の安全性の向上と代替路確保**
国道5号の走行安全性の向上や津波災害時の広域避難路、緊急輸送道路としての機能が期待される。

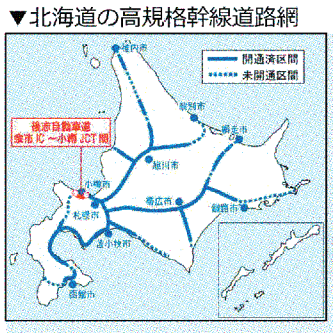
◇**噴火災害時の代替路確保**
噴火リスクが高い有珠山や樽前山の噴火災害時において、道央圏と道南圏を結ぶ広域的な代替路や避難路としての機能が期待される。

◇**観光の活性化**
道央圏から後志地域への所要時間短縮により、観光地へのアクセス性が向上し、更なる観光客の集客が期待される。

◇**地域の安全・安心な暮らしに寄与**
三次医療施設までの搬送時間短縮などによる後志地域の救急医療体制の強化により、地域の安全・安心な暮らしに寄与することが期待される。

◇**農水産品の輸送の利便性向上**
迅速性・定時性の向上や安定的な輸送により、地域の特産品であるウニやぶどうなどの販路拡大や輸送品質の向上が期待される。

▼北海道の高規格幹線道路網



▼開通区間位置図

オフィス街ロードクリーン2018

11月1日（木）朝、東京の霞ヶ関・虎ノ門・永田町一帯で周辺に勤務する企業や官庁の人たちによる歩道清掃のボランティア活動が行われた。

この活動は、平成7年から実施（平成13年から「オフィス街ロードクリーン」という名称で実施）しており、今年で24回目となる。

今年は、約950名が参加し、総延長10，930mの歩道の清掃を行った。

高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

【工事通行止め】

◇**東京外環自動車道**　大泉IC入口・出口
関越自動車道　大泉IC入口
都道24号（目白通り）　大泉IC周辺
11月12日（月）～15日（木）、26日（月）、30日（金）、12月5日（水）、10日（月）、14日（金）、19日（水）各日21:00～翌5:00

◇**東海北陸自動車道**　高鷲IC～荘川IC
12月3日（月）～12月14日（金）各日20:00～翌6:00（予備日を含む・土日除く）

◇**東名阪自動車道**　四日市東IC～四日市JCT
12月1日（土）23:00～翌6:00

◇**第二阪奈有料道路**
11月28日（水）21:00～翌6:00

◇**阪神高速8号京都線**
12月3（月）22:00～12月5日（水）11:00
12月10（月）～12月15日（土）各日22:00～翌6:00

◇**尾道自動車道・世羅IC～山陽自動車道・尾道JCT**
11月26日（月）21:00～翌6:00

◇**尾道自動車道・尾道北IC～山陽自動車道・尾道JCT**
11月27日（火）21:00～翌6:00